

テストの日——先生と1対1で自己紹介

単元の位置	1 SO	2 SO	3 YT	4 YT	5 EC◎	6 EC◎	7 OH	本時 8 OH◎
-------	------	------	------	------	-------	-------	------	----------

前時：第7時 伝え合う②とクラスの「わけ」あつめ／次時：—（単元のおわり）

この時間を3行で

① 先生と1対1で約1分の自己紹介のテスト。待つ班はローテで活動

② 英語で言うのは太字だけ（台本の枠・読み上げ例も太字）。ほかは日本語でよい

③ ◎全員を1対1で記録（知技・思判表）。態度は振り返りカード

本時の目標	先生と1対1のやり取りで、支えの質問を受けながら、好きなことや得意なこと、たからものについて自分のことを2文程度で伝えるとともに、先生の質問に合った答えを返すことができる。（知識・技能／思考・判断・表現）
めあて	先生と1対1で、自分のことを伝えよう
評価	◎記録に残す評価：知識・技能／思考・判断・表現／主体的に学習に取り組む態度（パフォーマンステスト・振り返りカード・6-41・41-45・35人で35～40分。終わらない子は次の時間のはじめに）

太字＝英語で言う／ふつうの字＝日本語でよい ・留意点 ◇全員へ ◆止まった子へ ◎記録 ○指導に生かす ▶スライド □ 紙 ⇒2＝2ページ目

分・形態	学習活動（S：予想される反応）	先生のことば	留意点・評価・▶〔紙〕
0-2 全体	あいさつ（歌はなし）。今日はテストの日。	T Hello, everyone! How are you? みなさん、こんにちは。	▶S1
2-6 全体	テストのやり方と、待つ班の役割（テスト席・サイコロトーク・カード交流・単元のまとめ）を聞く。	T 先生と1人ずつ、今日まで練習した自己紹介をします。カードを持ってきていいよ。	▶S2-3 [パフォーマンステスト] ・ローテの班は、ふだんの班を2つ合わせた1～4班（8～9人）。テストが終わった子は、席でサイコロトーク ⇒2
6-15 1対1	1回目（1班がテスト席・2班がサイコロトーク・3班がカード交流・4班が単元のまとめ）。テスト席の班の子を順に呼ぶ（1人約1分）。 S: I like music. I'm good at swimming. S: My treasure is my book.	T What do you like? （あいさつのあと。I like を待つ） T What are you good at? （出なければ Can you swim? から good at へ） T What's your treasure? Show me, please. （カードを見せてよい。答えのあと3秒待つ）	▶S4 [パフォーマンステスト] ◎知識・技能／思考・判断・表現＝テスト席で全員・待機イスは呼ばれる直前の1人だけ ・終わった子は、聞かれたことを話さない ◆ことばが出ない子には、テスト席の絵カードを2枚見せて選ばれる
15-24 1対1	2回目。役割を1つずらす（テストを終えた班はサイコロトークへ、単元のまとめの班がテスト席へ）。	T 役割を1つずらします。	▶S5
24-33 1対1	3回目。役割を1つずらす。	T 役割を1つずらします。	▶S6
33-41 1対1	4回目。役割を1つずらす。	T 役割を1つずらします。	▶S7
41-45 全体→ひとり	振り返りカードの単元のまとめ（できたかな・つたわった！しるし・クラスのこと）が書けたかを確かめる→集める→あいさつ。	T 「へえ」と思ったしゅんかん、書けたかな。 T Good job! See you! よくがんばりました。	▶S8-9 [振り返りカード] ◎主体的に学習に取り組む態度＝振り返りカード（単元のまとめ）

第8時 評価・板書・準備（前の日に読む面）

評価 ◎知識・技能／思考・判断・表現／主体的に学習に取り組む態度（6-41・41-45）
ルーブリックは「パフォーマンステスト」の3ページ目（ルーブリックと記録シート・ここには書きません）。全員を1対1で記録する。
評価に入れないこと：たからものが何か（値段・新しさ・めずらしさ）／I'm good at swim. のような形のまちがい／カードや黒板の型を見て話すこと／声の大きさ・目線・挙手

展開の補足 1ページ目の「⇒2」
2-6 ・カード交流は班の中で小声で、立ち歩かない。単元のまとめが書けたら、席でサイコロトーク

左	中：会話の型	右：ことばの補給（第6時から）
日付・第8時 めあて	I'm from I like I'm good at My treasure is （聞く人）What's your treasure? / Why?	（この時間は書き足さない）
黒板の横：キーフレーズポスター（第1時から）／班のわけの1文（第7時） テレビ（映すだけ）：ローテの役割と回（映すだけ） 書かないもの：テストの結果・記号／呼ぶ順の名前		

ALT
いるとき：・テスト中は待つ班の見守りと、サイコロトークの相手（小声で）
・テスト席には入らない
いないとき：・待つ班は、はじめに役割の画面で確かめておく。先生はテスト席から見渡す
ALT に頼まないこと：Please don't help at the test table.
Please don't compare students.
評価は担当がします。ALT に記録はつけてもらいません。

時間が足りないとき
削る順：①説明（2-6）は役割のまとめの画面だけにして2分で
②最後の振り返りは、まとめが書けていない子だけ書く
削らないもの：全員の1対1のテスト（終わらない子は次の時間のはじめに）
前の時間が終わっていないとき：第7時のわけあつめが終わっていない班は、カード交流の時間に続きをする

この時間の配慮 3つの点検
家：たからものが何かはテストで見ない（毎日つかうふでばこでよい）。物は持ってこさせない
くらべる：テストの結果や記号を、子どもの前で言ったり並べたりしない
目立つ：テストは1対1で、ほかの子は活動中。待機イスは呼ばれる直前の1人だけ
単元計画の配慮③：得意なことが出ない子は「好きなこと」で代替してよい（I like で十分に伝わる）
単元計画の配慮④：英語が出ない子は絵カードを指す＋単語1つから。言えた文の数はくらべない

- 準備物**
- ☐ 「パフォーマンステスト」 先生用1部（記録シート）
 - ☐ 「絵カード」 テスト席に提示用1部
 - ☐ 「活動シート1」 人数分（サイコロトーク・第2・4時のもの）＋サイコロ班に1個
 - ☐ 「活動シート2」 人数分（テストとカード交流で使う）
 - ☐ 「振り返りカード」 人数分（単元のまとめ）
 - ☐ 待機イス 1
 - ☐ 教室のタイマー 1